

信州大学医学部附属病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
病態解析診断学における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年6月11日

「IgG4 関連消化管病変・腸間膜病変の実態」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4051
研究課題名	IgG4 関連消化管病変・腸間膜病変の実態
所属(診療科等)	病態解析診断学
研究責任者(職名)	上原剛(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2021年3月31日
研究の意義、目的	IgG4 関連疾患の病態を明らかにすることを目的とした研究で、治療や診断に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	1985年1月1日から2020年3月30日の期間に当院で IgG4 関連疾患について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、血清 IgG 値、IgG4 値など／病理組織検体など
他機関への試料・情報の提供方法	郵送、電子的配信(パスワード管理を行う)により提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、IgG4 関連疾患と各種診療記録との関係性の有無について検討します。また病理標本で IgG4 関連疾患の特徴を検証します。
共同研究機関名	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 (責任者:能登原憲司)
研究代表者	主任施設の名称:公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 研究責任者:能登原憲司
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 上原剛(病態解析診断学・准教授) 電話:0263-37-2805

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。